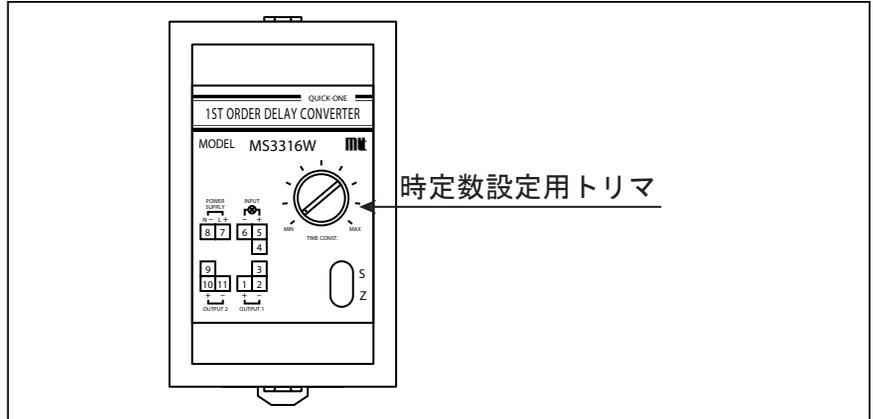
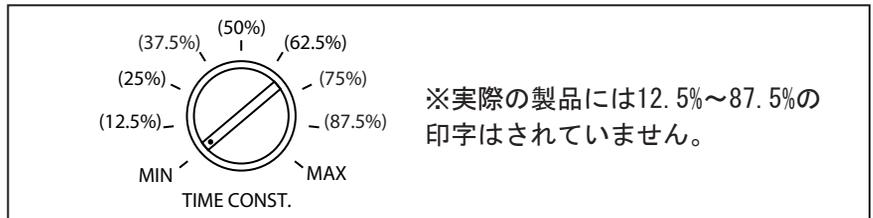


MS3316は前面のトリマにて予めご指定頂きました時定数範囲内で1次遅れ時定数を設定することができます。



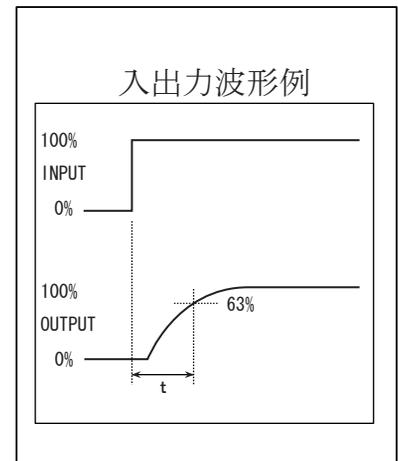
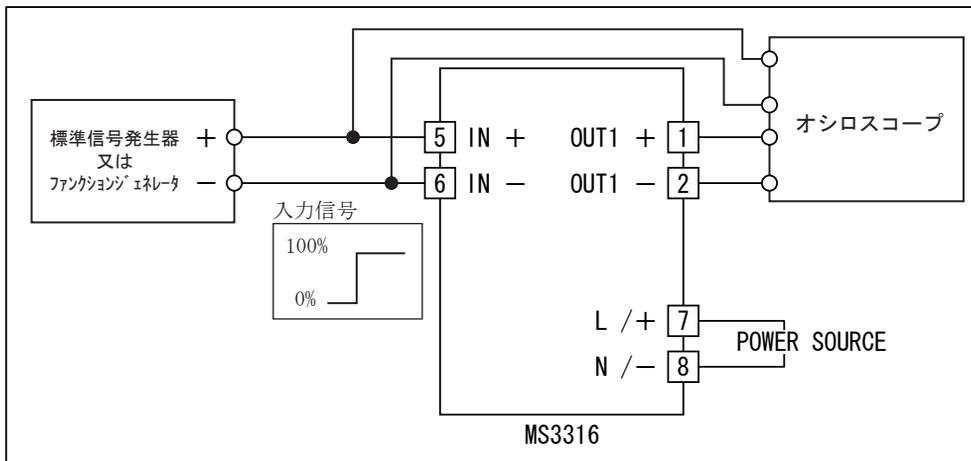
設定の方法

- MS3316本体前面のトリマの目盛を目安に設定を行ってください。



- 設定後、下記に従い時定数の確認を行ってください。

- ① 下図に従い各機器を接続してください。
(接続作業は、全ての機器の電源をOFFにして行ってください。)



- ② 上図の状態各機器に電源を投入し、その後最低30分間のウォーミング・アップを行ってください。このウォーミング・アップが不十分ですと、正確な測定ができません。
- ③ MS3316の入力仕様0%→100%のステップ信号を入力し、そのときの入力及び出力波形をオシロスコープにて観測してください。
- ④ 入出力波形例に示す時間 t を読みとり時定数の確認を行ってください。
- ⑤ トリマを調整しながら③、④を繰り返して時定数を設定してください。